

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 16 年第 1 回日本核医学会理事会議事録

(吉田祥二大会長)

日時：平成 16 (2004) 年 1 月 19 日 (月)

12 時 00 分 ~ 16 時 10 分

場所：東京，ルビーホール (明星の間)

出席：利波紀久理事長，西村恒彦会長，久保敦司，
伊藤健吾，玉木長良，大鈴木孝，福永仁夫，
竹田 寛，尾川浩一，中川原譲二，油野
民雄，井上登美夫，小泉 潔，阪原晴海，
佐治英郎，穴戸文男，本田憲業，各理事，
日下部きよ子監事，吉田祥二春季合同セミ
ナー会長，中嶋憲一幹事長 (書記)，日本核
医学会事務局神田正子

欠席：宇野公一理事，中條政敬監事

議題

I. 審議事項

1. 第 5 回春季合同セミナー大会長について
2. 第 12 回実践セミナー大会長について
3. 日本核医学会各賞について
(阪原晴海理事)
4. 世界核医学会の Permanent Office について
(西村恒彦会長)
5. 分科会 (Molecular Imaging) 設立に関する要望
(西村恒彦会長)
6. 日本核医学技術学会との連携について
(本田憲業理事)

II. 報告事項

1. 第 43 回総会報告 (久保敦司前会長)
2. 第 44 回総会状況報告 (西村恒彦会長)
3. 第 45 回総会準備状況報告
(日下部きよ子次期会長)
4. 第 4 回春季合同セミナー準備状況報告

5. 第 10 回実践セミナー準備状況報告
(福永仁夫理事)
- 第 11 回実践セミナー準備状況報告
(伊藤健吾理事)
6. 会計報告 (平成 15 年 9 月 ~ 平成 15 年 11 月)
(久保敦司理事)
7. 委員会報告
 - 1) 編集委員会 (玉木長良理事)
 - 2) 教育・専門医審査委員会
(油野民雄理事)
 - 3) 健保委員会 (久保敦司理事)
 - 4) 広報委員会 (尾川浩一理事)
 - 5) 法人化対応委員会 (本田憲業理事)
 - 6) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)
 - 7) リスクマネジメント委員会
(竹田 寛理事)
 - 8) 放射線防護委員会 (竹田 寛理事)
 - 9) PET 核医学委員会 (伊藤健吾理事)
 - 10) 倫理検討委員会 (井上登美夫理事)
 - 11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン
作成委員会 (久保敦司理事)
 8. ワーキンググループ (伊藤健吾理事)
 9. 分科会活動
 - 1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (阪原晴海理事)
 - 2) 日本脳神経核医学研究会
(中川原譲二理事)
 - 3) 日本心臓核医学会 (大鈴木孝理事)
 - 4) 呼吸器核医学研究会 (井上登美夫理事)
 10. 世界核医学会 (西村恒彦会長)
 11. 米国核医学会 (玉木長良理事)
 12. アジアオセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務)
(阪原晴海理事)
 13. 日韓中核医学会 (小泉 潔理事)

14. その他

- ・ 日本専門医認定機構第1回総会について
(福永仁夫理事)
- ・ 幹事長について (利波紀久理事)
- ・ 治験候補薬の推薦について
(小泉 潔理事)
- ・ 日本医師会への要望書 (久保敦司理事)

III. 確認事項

1. 前回議事録(案)
2. 平成15年度担当役員

議事概要

I. 審議事項

1. 第5回春季合同セミナー大会長について
伊藤健吾理事より説明があり、今枝孟義大会長のもと平成17(2005)年5月27-29日に名古屋国際会議場での開催を承認した。
2. 第12回実践セミナー大会長について
第12回の大会長として、穴戸文男理事が担当することとなった。
3. 日本核医学会各賞について (資料)
理事長より日本核医学会各賞の選考方法について説明があった。
核医学会賞の意義は核医学に貢献した功労者としての性格をもつものとする。
海外誌に優秀な論文を公表した若手の会員を対象に、研究奨励賞の新設について提案があった。外国での研究は対象とせず国内での研究を対象とする。発表のための機会を設け、会期中に発表内容を含めて最優秀賞を選定する。次回は海外誌に2004年3月末までに発表された論文を対象とする。応募は2月の核医学誌にて公表し6月末の締め切りとする。
選考方法は学術担当の阪原、穴戸、油野、伊藤理事に、次回理事会までに検討していただく。

附記(2004/2/2 記載)：「海外誌」との記載を「英文国際誌」と変更することを電子メールによる紙上理事会議により確認した。この修正

により研究奨励賞の対象にはANMを含めて国内で発表された優秀な英語論文も選考の対象にできる。

4. 世界核医学会のPermanent Officeについて
(資料)(西村恒彦会長)

Dr. Myung-Chul Leeより世界核医学会のpermanent officeを作る提案があったことが報告された。目的、費用、場所などを明確化する必要があるのとの意見が多く、引き続き各理事の意見を求め、継続審議とする。

5. 分科会(Molecular Imaging)設立に関する要望
(資料)(西村恒彦会長)

西村理事、佐治理事より同分科会の設立要望があり、薬学等の基礎検討が中心になる。今後、研究会としての進めていただき、さらに実績をあげる必要もあるとの意見も出された。継続審議事項とする。

6. 日本核医学技術学会との連携について
(資料)(本田憲業理事)

核医学専門技師の認定証に核医学会の名称をのせる件。

放射性医薬品の調剤について：調剤は基本的には医師の監督下にある点、および技師側の意見を考慮しつつ、以上の2点を幹事会で検討する。

II. 報告事項

1. 第43回総会報告(資料)(久保敦司前会長)
参加人数、経費および従来との相違点として、評議員会の開催日、international session、機器展示、教育講演について説明がなされた。問題点として、プログラム・講演要旨集の取り扱い、総会事務局と学会事務局の関連が説明された。学会中の会議等の費用分担については、会計担当理事を中心に検討する。
2. 第44回総会状況報告
(資料)(西村恒彦会長)

11月4-6日に京都国際会議場で予定されており、準備状況について、資料に基づき説明がなされた。

3. 第 45 回総会準備状況報告
(日下部きよ子次期会長)
4. 第 4 回春季合同セミナー準備状況報告
(資料)(吉田祥二大会長)
4月 22-24 日に予定されており、初心者のための核医学講習会、専門医教育セミナー、PET 研修セミナー、ランチョンセミナー、関連研究会について説明がなされた。セミナー登録は事前登録とする。22 日 12 時に理事会を予定する。技師が再教育を目的に PET 研修に参加する場合一部参加の費用を考慮する。
5. 第 10 回実践セミナー準備状況報告
(別紙資料)(福永仁夫理事)
3月 13 日に岡山でセミナーが開催されることについて説明がなされた。
第 11 回実践セミナー準備状況報告
(伊藤健吾理事)
7月 3 日午後、愛知県で開催される。
6. 会計報告(平成 15 年 9 月～平成 15 年 11 月)
(資料)(久保敦司理事)
資料にしたがって収入支出の説明がなされた。
7. 委員会報告
 - 1) 編集委員会 (資料)(玉木長良理事)
資料により説明がなされた。査読の on line 化について検討中であり、井上理事より、on line 化についてどの程度の電子化を目指すのか調査中であることが説明された。外国人による査読、impact factor をあげる努力をすること、査読者の再検討などが引き継ぎ事項にあげられている。核医学論文賞は核医学誌と ANM を併せて 1-2 編選ぶことにした。
 - 2) 教育・認定医審査委員会 (資料)(油野民雄理事)
委員の構成として、専門医の審査は医師である必要があるとの意見があったため、医師以外の委員については議決権を有さないオブザーバとして参加していただくことになった。専門医試験問題集は委員会外の作業として行い、春季合同セミナーに間に合う見込みである。
- 3) 健保委員会 (資料)(久保敦司理事)
放射性ヨード内用療法の健保収載を第一にして医師会に提出している。
放射線治療の一部として扱っていただくように要望中である。
- 4) 広報委員会 (資料)(尾川浩一理事)
ホームページ管理、電子メールによる情報提供、核医学 Q&A の増刷、メールリストの作成、専用サーバレンタルにつき報告された。
- 5) 法人化対応委員会 (本田憲業理事)
文部科学省に申請を行ったが、法人化の期限を明確にして提出中である。
- 6) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)
特になし。
- 7) リスクマネジメント委員会 (資料)(竹田 寛理事)
資料に沿って説明がなされた。核医学診療事故防止試案をホームページに載せ、会員からのコメントを収集中である。本年度は事故の実態調査と防止策を検討する。
- 8) 放射線防護委員会 (資料)(竹田 寛理事)
資料に沿って説明がなされた。今年度は PET-CT による被曝線量をテーマとして取り上げる。
- 9) PET 核医学委員会 (資料)(伊藤健吾理事)
資料に沿って説明がなされた。教育認定医制度、FDG-PET ガイドライン、放射線防護、FDG 管理、保険適応などの課題について説明がなされた。各施設にアンケート調査を送付中であり、結果は春季合同セミナーで報告する。PET 検診ガイドラインも検討中である。PET 診療に関連して核医学が中心になって活動できる体制作りが必要であり、案を作成する。

- 10) 倫理検討委員会 (井上登美夫理事)
新たに立ち上げ，検討を開始する。
 - 11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会 (資料)(久保敦司理事)
放射性医薬品臨床評価ガイドラインを作成し，厚生労働省医薬食品局に説明し，提出した。
 8. ワーキンググループ (伊藤健吾理事)
ワーキンググループの終了報告書をお願いし，手順を整理中である。
 9. 分科会活動
 - 1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (阪原晴海理事)
次回研究会の進行状況が説明された。
 - 2) 日本脳神経核医学研究会 (中川原譲二理事)
SPECT の有用性に関するエビデンスについても検討中で，ガイドライン作成を目指している。
 - 3) 日本心臓核医学会 (大鈴文孝理事)
日本循環器学会，核医学会総会にあわせて学会を予定している。
 - 4) 呼吸器核医学研究会 (井上登美夫理事)
次回学会の進行状況が説明された。米国核医学会 (SNM) との joint seminar として，孤立肺結節の CT 診断，PET 診断を取り上げる。
 10. 世界核医学会 (西村恒彦会長)
関連する問題について審議事項として提案した。
 11. 米国核医学会 (玉木長良理事)
SNM との合同セミナーを予定している。
 12. アジアオセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務) (阪原晴海理事)
核医学誌に案内を挟み込むことを認めた。
 13. 日韓中核医学会 (小泉 潔理事)
学会の進行状況について利波紀久大会長より説明があった。
 14. その他
 - 日本専門医認定機構第 1 回総会について (資料)(福永仁夫理事)
平成 15 (2003) 年 11 月 11 日に同協議連絡会での内容について，資料に沿って説明がなされた。専門医制度のチェックリストについて検討した。
幹事長について (利波紀久理事長)
幹事の互選により中嶋憲一幹事長を選出した。
治験候補薬の推薦について (資料)(小泉 潔理事)
治験候補薬として医師会治験促進センターに I-123 MIBG など 8 項目を推薦した。承認中 4 件，治験中 3 件の薬剤がある。
専門医認定のための資格条件
初期臨床研修を終えているかどうかに関わりなく，核医学会会員になってからの期間で決定する。
- III. 確認事項
1. 前回議事録 (案) (資料)
 2. 平成 15 年度担当役員 (資料)
 3. 次回理事会は，4 月 22 日に行われる。